

□議員名：中島好人

### 1 地域経済の活性化について

論点	アベノミクスは、格差をもたらした。日本経済を立て直すには大企業応援から暮らし第一の転換が必要である。
回答	個人市民税は、厳しいが法人市民税が伸びているのでこれで補える。法人税が伸びているということは、やがては個人のほうにも、還元される時期が来ると期待している。

論点	大企業の内部留保は、過去最高の 323 兆円。賃金は、16 か月連続減収で年間 8 万 4400 円マイナスとなっても期待するのか。
回答	勤労者の側にもしかるべき、その日本経済の利益部分一定割合は配分されて当然だと、そういう時期が来ると近いうちに来るといふふうに考えている。

### 2 「中小企業振興条例」策定について

論点	「条例」の中に、若手経済人や行政マンなど地域の将来を担う人材育成と次世代へのメッセージを含めたものは検討しているか。
回答	現在、条例素案の段階だが、若手の皆さんのことまで入れるかどうかは、答えられないが、十分参考にさせてもらう。

### 3 生活保護について

論点	市営住宅入居時における保証人の免除について、県を含め宇部市、下関など代理納付が行われれば、免除もしくは1名としている。
回答	市営住宅条例 10 条に 2 名と書いてあるので、条例改正の方向で検討する。